

# 届け 世界の果てまでも

令和2年 8月20日  
No. 25  
文責 校長 飯久保一男

## カッコイー2学期を

8月用のタイトルにマイナーチェンジしました。

2学期がスタートしました。2学期は、もともと1年間のうちで、いちばん長い学期ですが、例年より夏休みが短くなりましたので、今年は、さらに長い学期になります。夏から冬へと季節も大きく変わる中で、子どもたちが大きく成長できるよう教職員全員で取り組んでまいりますので、1学期同様ご理解・ご協力をお願いします。また、行事がたくさん計画されている学期ですが、できる限り実施する方向での検討を重ねてきています。日々変わる感染状況を見ながらの難しい判断になりますことをご承知おきいただきたいと思います。

2学期の始業式で、子どもたちに向けた校長の話の概要です。

今日から2学期が始まりました。2学期は1学期よりもさらにいい学期となるようにがんばっていきましょう。2学期は1年間の中でも、一番長い学期です。特に今年は、夏休みが短かったこともあるので、長い学期になります。今は、残暑とあって、夏の終わりで、まだまだ暑い日が続きそうですが、これから秋を迎え、そして2学期の終わりには冬になります。季節が大きく変わる中で、小笠原小の皆さんが大きく成長することを期待しています。

コロナウイルス感染症への対策で、変更したり、制限したり、縮小しなければならなかったり、中止しなければならなかったりする行事や活動もありますが、2学期には、様々な取り組みがあります。また、学習や読書などにじっくり取り組める季節にもなります。

そこで、皆さんに出会ってほしい怪獣を紹介します。



### 今年のめあて 令和2年度

その1  
おたがいを思いやると「カッコいい」  
自分を大切に、ほかの人も大切にしよう

その2  
おたがいを高め合うと「カッコいい」  
やる気をもって授業に参加しよう  
楽しい学校・学年・学級をつくろう  
やる気のあることは  
「ほくがやります」「私がやります」

その3  
あたり前に行けると「カッコいい」  
はじめをつけよう、きまりを守ろう  
ふつうに行けると、カッコいい  
あいさつ 返事 感謝の言葉（ありがとう）  
整列や移動を無言でまっすぐ  
そうじを無言ですみずみまで  
整理・整とん（はきもの、ロッカー、机・いす）

始めに、何度も紹介していますが、私が今年テーマにしている【カッコイー】です。カッコいい小笠原小、カッコいい自分、カッコいいクラス・学年などをめざして取り組んでいきましょう。そのために、出会ってほしい怪獣をもう一つ紹介します。【やるき】といいます。学校での生活の中での「カッコいい姿」「やる気のある姿」とはどういう姿でしょう。各クラスに「今年のめあて」を掲示してもらってあります。そこに書かれていることが、「カッコいい姿」「やる気のある姿」です。あいさつをすること、返事をすることに始まり、そうじを無言ですみずみまでできること、はきもの・ロッカー・机・いすなどが整理・整とんできることなどもその一つです。特に、他の人を大切にすることは、レベルの高い「カッコいい姿」「やる気のある姿」だと私は思っています。

始業式のあと、クラスの役員などを決めるとありますが、そこの「カッコいい姿」「やる気のある姿」はどういう姿でしょうか。

「ぼくがやります」「私にやらせてください」「オレにまかせてほしい」などの言葉が言える人は「かっこよく」「やる気がある」人です。クラスによっては、1学期は役員などへの立候補がないクラス・少ないクラスがあったかもしれませんが、2学期の今は、それを切り替えるチャンスです。たくさんの人が立候補して、希望者があふれるクラスは、「かっこよく」「やる気がある」クラスです。役員を決めるときだけでなく、「〇〇をしてくれる人？」と頼まれたときにも、「それやります」と言える人は「かっこよく」「やる気がある」人だと思っています。

では、授業の中での「かっこいい姿」「やる気のある姿」とはどういう姿でしょう。進んで発言をすることがその一つの姿です。たとえ、間違えていても、その発言でクラスの友達が深く考えることになったら、その姿は「かっこいい姿」「やる気のある姿」だと私は思っています。失敗を恐れず挑戦していきましょう。また、友達の考えを最後まで聞けること、学習のまとめを自分の力でできること、家での宿題を含めた学習ができることなども「かっこいい姿」「やる気のある姿」だと思います。

このような授業ができ、役などに立候補する人が多くいけば、クラスや学年のみんなで、高め合っているとと思っています。このことが、最高の「かっこいい姿」「やる気のある姿」だと考えています。そういうクラスや学年は、一人一人を大切に、また、元気で楽しく、明るいクラスや学年だと思っています。そんなクラスや学年になると、その中でまた高め合って、さらに「かっこよく」「やる気のある」クラスや学年に進化していきます。こんなとてもいい循環ができると、その中で皆さんは大きく成長できるのです。これらの怪獣にどんどん出会ってもらい、自分も成長でき、周りも成長できる学校にしたいと私は願っています。

かなり、レベルの高い話をしました。コロナウイルスなんぞに負けず、「かっこよく」て「やる気のある」小笠原小学校めざしてみんなでがんばる2学期にしていきたいと思います。

## うれしい限りです

1学期の終業式の日帰りがけに5年生の子が「お母さんが、校長先生のおたよりを楽しみにしています。おたよりを読んで『私のやってきたことは間違っていない』と言っていました。」と私に話してくれました。うれしくなって「ありがとう。お母さんによるしく言ってね。」と、マスク越しでしたが満面の笑顔をつくって伝えました。こういう通信を作成して配付することは、一方通行になるのはやむを得ないことですが、このように反応が聞こえてきますと俄然「やるき」が湧いてきます。子どもたちに2学期に出会ってほしいと紹介した怪獣の「やるき」ですが、私は1学期の終わりにすでに出会っていました。



お盆のお墓参りでは、子どもの家族のお墓参りの皆さんと出会いました。お父さんから「校長先生のおたより勉強になります」との言葉をいただき、おばあちゃんからは「私も読んでるさ」（おばあちゃんは我が家のご近所さんです）と言われ、猛烈にうれしくなりました。

別の近所の方からは「回覧板で回ってくる先生のおたより近所でも「先生」と言われています（地域回覧用「愛する故郷小笠原」）読んでるよ」という話もいただいていますし、『かっこいい』がキーワードですね」と内容にふれた話もいただいています。息子の同級生のお父さんに出会ったときは「ホームページで通信を読んでいますよ」とも言われました。うっうっうれしい限りです。

この通信について、感想など（ご意見・ご批判でも構いません）がありましたら、連絡帳などを通じて担任にお知らせください。いただけたら「〇〇もおだてりゃ口にのぼる」となりそうです。

この通信について、感想など（ご意見・ご批判でも構いません）がありましたら、連絡帳などを通じて担任にお知らせください。いただけたら「〇〇もおだてりゃ口にのぼる」となりそうです。

校長室で一人で仕事をしていますと、なかなか「やるき」が湧いてこないときがあります。

そんなとき、ふっと視線を上にとるとズラ〜と並んだ歴代の校長先生方の写真が目に入ります。

「おいおい、しっかりしてくれよ」と歴代の校長先生方が、笑顔の中にも厳しい目を私に向けてきます。明治から続く、歴代の総勢40名ほどの校長先生方に、見張られて見守られて、この通信を書いています。

